

“お仕事博覧会”で、小学校6年生が自分の未来をイメージ “教育支援コーディネーター・フォーラム”での出会いが、支援を豊かに！ 支援団体：NPO 法人コアネットほか

杉並区立沓掛小学校支援本部の地域コーディネーター、藤原さんからネットワーク協議会事務局に連絡があり、小学校6年生を対象とした総合的な学習の時間“お仕事博覧会”の様子を見学してきました。このお仕事博覧会は、小学6年生の児童が、多様な職種の社会人と直接出会う機会です。学校支援本部で社会人を集め、好評のうちに過去4回開催してきた取組だそうです。

昨年度の社会人講師は15人、今年は17人（工業デザイナー、公務員、IT関係、銀行家、銀行家、研究開発、薬剤師、公認会計士、パティシエ、サッカーコーチ、貿易商社、保育士、外交官、アナウンサー、警察官、消防士、編集者、グラフィックデザイナー）もの講師が勢ぞろい。子供たち5、6人の小グループで、講師がスタンバイしている会場の各ブースを20分づつ、3サイクルで回って話を聴きます。

ほぼ毎年実施してきたとはいえ、この取組の一番の課題は講師を見つけることだと藤原さんはいいます。専門的な多様な職種は、名前は聞いたことがあっても、身近なコネクションではなかなか集めきれないもの。藤原さんは、昨年度の教育支援コーディネーター・フォーラムに参加し、出展団体であったNPO法人コアネットの連絡先を入手していました。その後連絡を取り、今回の講師集めにコアネットの協力を得て、17名中5名の講師を揃えていただいたとのことでした。「フォーラムに参加してよかった！」と藤原さんはおっしゃっていました。

例年、将来大人になってなりたい職業は？と卒業の時に聞かれて、この“お仕事博覧会”で出会った職業を上げる児童もいるとのこと。こうした多様な実際の職業人との出会いが、児童が自らの将来について、前向きに考え始める機会として継続されているのを感じる取組でした。

■ 17人の社会人と小学6年生との出会い

実施日時：平成24年9月19日（水） 実施場所：杉並区立沓掛小学校
学年：6年生（4クラス計118名） 時程：午前2時間（3・4時間目にあたる時程に実施）



アナウンサー：谷原さん「たくさんのお会いのある仕事です」



保育士：井口さん「保育士の仕事は・・・」



警察官：松本さん・竹内さん「踊る大捜査線見たかな？警察の仕事は・・・」



編集者：檀さん「例えば『子供が世界一周』という本をつくるとしたら」



消防士：山崎さん「この重装備をして消火活動します」



IT関係：山本さん「パソコン上で3Dで設計するソフトです」



研究開発：上島さん「例えば車の開発ですが」



貿易商社：中嶋さん「サウジアラビアは、王国だね」



薬剤師：小野さん「患者さんに合わせた飲みやすい薬を」



銀行家：梶さん「日本銀行って知ってるかな？」



グラフィックデザイナー：土谷さん「印刷するものをデザインします」



サッカーコーチ：安藤さん「権田キーパーのグループです」



外交官：庵原さん「家族月約400円で暮らしている国もあります」



会計士：石坂さん「企業の帳簿の監査を行います」



公務員：佐々木さん「たくさんの部署、仕事があります」



工業デザイナー：田村さん「工業デザイナーの仕事は、たとえば」



パティシエ：松崎さん「パティシエになるためには」

支援団体・支援プログラム情報

NPO 法人コアネット <http://www.core-net.org/>